

つるフィールド・ミュージアム活動ピックアップ!

この他にも活動はさまざま! 関心のある活動にぜひ参加してみてください!

FIELD・NOTE



新棟で地域の方とより深い交流ができるかも!一緒に冊子作りができることを楽しみにしています!

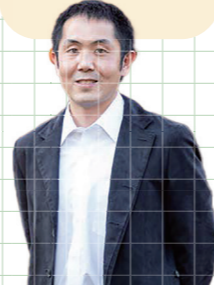


国文学科2年 横山幸乃さん

ボランティアひろば



最近、散歩しながらゴミひろいをする“ボラひろさんぽ”も登場!楽しくまちとつながろう!



学校教育学科教員 堤英俊先生

地域交流研究センターの機関誌『FIELD・NOTE』は学生が主体となって編集に取り組み、毎年4号発行しています。最新号の117号は「花」という特集で、都留で見られる身近な花を観察し記録しています。

学生ボランティア同士で交流したり、情報交換を行ったりする場です。子どもたちに読み聞かせをする方や親子向けのイベントを開催する方など、外部よりゲストをお招きし、現場の生の声をお聞きする貴重な機会もあります。

キャンパス生きものMap

めざせ!世界一生物多様性の高いキャンパス。私たちと一緒に環境保全型のキャンパスを創りませんか?



大学にもIH調理実習室が!豊かな食体験を通じて、地域の環と一緒に育んでいきましょう!



学校教育学科教員 平和香子先生

食育つる クッキング塾



生活環境科学系ゼミの学生が、小学生と一緒に調理実習をおこなっています。郷土料理をテーマに、学生の故郷でもある茨城県の栗ご飯やパイタ焼、愛媛県の石花汁や今治焼鶏を調理しました。郷土の歴史や食文化の紹介もしています。



地域交流研究センター 北垣憲仁先生

学生と一緒に、樹木や季節毎に見られる動植物を調査し、キャンパスの生物多様性を記録しています。学科を問わず、さまざまな学生が参加してくれました。学生の“推し”の生きもの紹介もあるのでぜひご覧ください。

フィールド・ミュージアム研究



2024年度からスタートした活動です。学科、学年をこえて集ったメンバーが、初代学生編集部として活動を進めています!



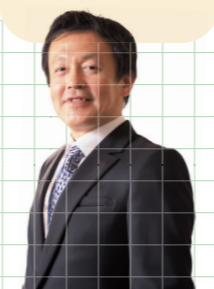
学校教育学科教員 邊見信先生

学生編集部メンバーは、山梨県内の地域学習実践を取材し、雑誌記事に編集します。先生方、子どもたち、地域の関係者の方々へのインタビューを通じて、学校と地域の「いま」と「これから」の関係性について考えています。

ぷらっとはうす



毎週水曜日と金曜日 15:30~17:30に、大学生と地域の子どものための楽しい時間を続けています。



地域社会学科教員 鈴木健大先生

富士急行線谷村駅の駅舎を活用し、小学生から高校生の居場所づくりをしています。2018年から開始、これまで「宿題教室」や「ぶち文化祭」「クリスマス会」など、放課後子どもたちが集まれるような空間をつくっています。

特集

2025年度 供用開始
都留文科大学の新棟

つるフィールド・ミュージアム

ができます!



vol. 07
2024 July

TSURU FIELD MUSEUM NEWS

「つるフィールド・ミュージアム」とは

都留文科大学では、地域そのものを博物館(ミュージアム)に見立て、身近な自然や文化に親しみ、じかに触れ、学びあう「つるフィールド・ミュージアム」構想を推進してきました。人間探究を掲げる本学にふさわしいこうした取り組みを受け継ぎ、発展させていくことを目的に2003年、地域交流研究センターが発足しました。

都留文科大学 地域交流研究センター

〒402-8555 山梨県都留市田原3-8-1 4号館1階 TEL. 0554-43-4341(内線606) MAIL. ckouryu@tsuru.ac.jp

[FIELD MUSEUM NEWS 第7号] 発行: © 都留文科大学地域交流研究センター 発行日: 2024年8月2日
センター委員: 鈴木健大/北垣憲仁/日向良和/別宮有紀子/内山美恵子/福島万紀/山森美穂/吉岡卓/野中潤/堤英俊/佐藤比呂二/山本剛/平和香子/山越英嗣/山本勝太/富永貴公/吉田恵理/邊見信/原和久/佐野夢加 事務局: 小林美貴子/杉本渡/渡部美由紀



都留文科大学 WEB



地域交流研究センターX

都留文科大学 地域交流研究センター Research Center for Community Collaborations



特集

2025年度 供用開始

都留文科大学の新棟

つるフィールド・ミュージアム

ができます！

もっと楽しく！もっと深く！

都留文科大学の新棟（「つるフィールド・ミュージアム」）が2024年度に完成します。ここでは、地域全体を博物館（ミュージアム）に見立て、フィールドで自然や人びとの暮らしにじかに触れ学びを深める拠点となる建物です。知識や技能を卒業後の人生にも活かすことのできる生きた学びが体験できます。

新棟には、まちの縁側となるようなテラスや四季の賑わいを感じるガーデン、生きものとの交流が楽しめるピオトープ、木を基調としたあたたかみのある室内など、学びを支える環境も整えています。



Pickup

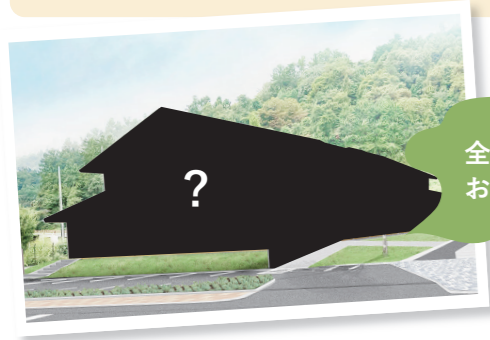
新棟のここがスゴイ！ 詳細は次号で！

Point! ここでしか読めない貴重な資料！

Point! 建物全体を取り巻くウッドデッキ！

Point! 生きものの賑わいが体感できるガーデン！

Point! 野外へいざなう豊富な図鑑！



全貌は次号をお楽しみに！

ムササビ観察会

子どもから大人まで大人気の観察会。森に出かけて生きたムササビとの出会いを楽しもう！

ムササビライブカメラ

24時間、ムササビの様子を配信しています。子育ての様子も一緒に観察しよう！

星空観察会

都留は星空も美しい！夜空の星を教員の解説付きで観察できます。

文大名画座

教員の解説もある映画の上映会です。誰でも参加できます！

オープンアーカイブ

都留で撮影された過去の写真など貴重なデジタル資料を管理・運営しています。

食育つるクッキング塾

楽しみながら食の大切さも学べる、小学生を対象とした調理実習です。

キャンパス生きものMap

キャンパスは生きもの宝庫！さまざまな動植物をMapにまとめ、生物多様性の高いキャンパスを目指します！

『フィールド・ミュージアム研究』

学生編集部のメンバーが、地域学習の実践取材し、冊子を編集・発行します！

クロボ（クロスボーダー・プロジェクト活動）

障がいの有無にかかわらず、だれもが参加できる居場所づくりを行っています。スポーツ、アート、音楽など活動はさまざま！

もっと楽しく！もっと深く！

学生、教職員、市民が参加できるさまざまな取り組みがあります。新棟は授業のほかにこうした活動の拠点にもなります。

つるぶんカフェ

地域のカフェを会場に、現代社会の問題や文学・芸術にまつわるテーマで、学生や市民、講師がともに学び合う場を目指しています。

ピオトープ整備プロジェクト

キャンパスの生物多様性を高め、生きものの賑わいが感じられる空間にしましょう！

谷ニラボ

小中学校の教員を目指す学生が指導的な立場で小学生とともに実験をする経験を積みます。

子ども公開講座

おもに大学を会場とし、子どもを対象とした講座です。

御師文化の再活性化事業

富士山信仰を支える御師の文化を再活性化させようというプロジェクトです。

ボランティアひろば

ボランティアをとおして交流できる場です。誰でも参加できます！地域でのボランティア活動の情報などを知ることができます。

駅展示（つるフィールド・ミュージアム分館）

富士急行線都留文科大学前駅の駅舎で、都留の自然や文化を紹介する展示をしています。展示制作は誰でも参加できます！

ぶらっとはうす

富士急行線谷村町の駅舎を活用した子どもたちの居場所づくりの活動です。宿題教室やクリスマス会なども開催しています！

『フィールド・ノート』

つるフィールド・ミュージアムの機関誌を学生が主体となり編集・出版しています。学科、学年をこえて学生が参加しています！

『こどもフィールド・ノート』

市内の子どもたちが、地域の自然や人びとの暮らしを見つめ、記録する取り組みです。

自然観察会

留学生に、都留の自然を体感してもらうための観察会です。学生がガイドや通訳を担当し、ムササビの観察などを行っています。